

学習評価 FIRST STEP ―中学校家庭科―

1 学習評価は何のため？

学習評価の目的は、生徒の資質・能力を育成することです。生徒の学習状況を適切に見取り、生徒の学習改善や教師の指導改善に生かすことが大切です。

2 学習評価の機能

○指導に生かす評価

生徒一人一人の学習状況を把握し、生徒の学習改善や教師の指導改善につなげるための評価のこと

※生徒の学習改善や教師の指導改善のために、日々の授業の中で生徒の学習状況を絶えず評価することが大切です。毎時間生徒の学習状況を見取り、**指導に生かす評価**を行いましょう。

○記録に残す評価

観点別学習状況の評価を総括する際の資料となるよう、学習状況を記録する評価のこと

※毎回の授業において、**記録に残す評価**を行う必要はありません。生徒全員の評価を記録に残す場面を精選することが重要です。単元のまとまりの中で、評価規準に照らして、生徒の観点別学習状況を把握し、記録します。

3 評価の観点とその趣旨

評価の観点とその趣旨は以下のとおりです。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費生活や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

4 評価のポイント

観 点	評価すること	評価方法
知識・技能	「知識」⇒「家族・家庭の基本的な機能について理解しているか、生活の自立に必要な家族や家庭、衣食住、消費や環境などに関する基礎的・基本的な知識を身に付けているか、また、それらの知識が社会の様々な場面で活用できる概念として理解しているか」 「技能」⇒「自分の経験や他の技能と関連付けられ、変化する状況や課題に応じて主体的に活用できるか」	「知識」 ・ワークシート ・ペーパーテスト 等 「技能」 ・教師による行動観察 ・写真 ・動画 ・生徒の相互評価の記述内容 等
思考・判断・表現	*4段階で構成される一連の問題解決的な学習過程(以下、「一連の学習過程」と示す)に沿って評価します。 ①【生活の課題発見】「生活の中から問題を見だし、解決すべき課題を設定しているか」 ②【解決方法の検討と計画】「課題について多面的に捉え、解決方法を検討し、計画、立案しているか」 ③【課題解決に向けた実践活動】「実践した結果を評価・改善しているか」 ④【実践活動の評価・改善】「考察したことを論理的に表現しているか」	・ワークシート ・計画表 ・実践記録表 ・レポート ・制作した作品 ・発表 ・教師による行動観察 等
主体的に学習に取り組む態度	①粘り強さ②自らの学習の調整③実践しようとする態度の3つの側面から評価します。 ①「粘り強さ」⇒「生活の中の課題の解決に主体的に取り組んでいるか」 ②「自らの学習の調整」⇒「一連の活動を振り返って改善しているか」 ③「実践しようとする態度」⇒「生活を工夫し創造し、実践しているか」	・ワークシート ・計画表 ・実践記録表・ポートフォリオ ・発言 ・教師による行動観察 ・生徒の自己評価や相互評価等の状況 等

* (注) 4段階で構成される一連の問題解決的な学習過程については、中学校学習指導要領(平成29年度告示)解説 技術・家庭編 p.65 を御参照ください。

5 評価規準作成のポイント

知識・技能

学習指導要領に示されている取り扱う指導事項アについて、その文末を「～について理解している」「～について理解しているとともに、適切にできる」とします。

思考・判断・表現

一連の学習過程の4段階に沿って、①「～について問題を見いだして課題を設定している」②「～について考え、工夫している」③「～について実践を評価したり、改善したりしている」④「～についての一連の活動について、考察したことを論理的に表現している」などとしします。

主体的に学習に取り組む態度

①粘り強さ②自らの学習の調整③実践しようとする態度を含めることを基本とし、①「～について課題の解決に主体的に取り組もうとしている」②「～について課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている」③「よりよい～の実現に向けて、～について工夫し創造し、実践しようとしている」などとしします。

6 題材における学習評価の場面【具体例】「目指そう！賢い消費者」

※指導と評価の計画の作成については「[題材デザイン FIRST STEP](#)」を御覧ください。

過程 時間	○ねらい・主な学習活動	評価規準(丸数字) 評価方法(□)		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生活の課題発見	1 ○自分や家族の物資・サービスの選択・購入について振り返って問題を見だし、課題を設定することができる。 ・自分や家族の消費行動について振り返り、物資・サービスの選択・購入に関わる問題点を発表し合い、課題を設定する。 ・本題材の見通しをもつ。		①物資・サービスの選択・購入について問題を見だして課題を設定している。 □学習計画表 □ワークシート	
解決方法の検討と計画	2 ○多様化した購入方法や支払方法の特徴について理解することができる。 ・無店舗販売などの利点と問題点について知る。 ・支払時期の違いによる特徴と三者間契約の特徴について知る。	①購入方法や支払方法の特徴について理解している。 □ワークシート 指導に生かす評価		①金銭管理と購入について、課題解決に向けて、主体的に取り組もうとしている。 □ポートフォリオ
	3 ○多様な支払方法に応じた計画的な金銭管理の必要性について理解することができる。 ・優先順位や支出項目を調整し、家族が健康で快適な生活を送るための収支の調整方法を検討する。 ・検討したことをグループ意見交流する。 ・鈴木家への金銭管理におけるアドバイスを考える。	②計画的な金銭管理の必要性について理解している。 □ワークシート		
	4 ○売買契約の仕組み、消費者被害とその背景、対応について理解することができる。 ・物資・サービスの選択・購入の際に成立している売買契約について知る。 ・消費者被害が発生する背景や被害を回避する方法や適切な対応の仕方などについて調べ、発表し合う。	③売買契約の仕組み、消費者被害とその背景について理解している。 □ワークシート		②金銭管理と購入について、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 □ポートフォリオ □行動観察
課題解決に向けた実践活動	5 ○物資・サービスの選択に必要な情報を適切に収集・整理し、情報活用して購入について考え、工夫、検討することができる。 ・各自が鈴木家の購入する自転車について必要な情報を収集・整理を行う。 ・収集・整理した情報から、購入する自転車を選択する。	④物資・サービスの選択・購入に必要な情報の収集・整理が適切にできる。 □ワークシート ①の評価規準 記録に残す評価	②物資・サービスの選択・購入について考え、工夫している。 □ワークシート	
実践活動の評価・改善	6 ○購入する自転車についてグループで発表し合い、評価・改善することができる。 ・意見交流を踏まえ、物資・サービスの選択・購入に必要な情報を改めて見直し、鈴木家にふさわしい自転車を再度選択する。 ・自分が考えるよりよい物資・サービスの選択・購入をまとめる。 ・題材の振り返りを行う。		④物資・サービスの選択・購入について課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に発表している。 □行動観察 □ワークシート ③物資・サービスの選択・購入について実践を評価したり、改善したりしている。 □ワークシート	③よりよい生活の実現に向けて、金銭の管理と購入について、工夫創造し、実践しようとしている。 □ポートフォリオ

学習評価の詳細については、佐賀県教育センターHP「[学習評価の進め方](#)」を御参照ください。